

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	障害者福祉施設サービス整備検討事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課					
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	小西 和典					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民（障害児・者）	意図	障害者が地域で自立した生活を送るために必要な施設サービスについて検討することで、法や制度に沿ったサービス体系を構築し、流山市の障害福祉の向上を目指す。
事業内容	今後、必要とされる障害者福祉施設（グループホーム）の整備を検討する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年以降障害者自立支援法による福祉サービス制度が整備され、旧体制から新体制への移行が進められた。地域活動支援センターⅢ型や就労継続支援B型施設の充実も図られてきた。平成26年4月から、重度心身障害者施設（光陽園）が開設した。また、長年に亘り、「親亡き後」のグループホームの早期建設を望む声が上がっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	地域活動支援センターⅢ型事業所	2	2	2	
②	就労継続支援B型事業所	9	9	9	数	↑↑↑	
③	自立訓練（生活訓練）事業所	2	2	2	数	↑↑↑	
④	就労移行支援事業所	2	2	1	数	↑↑↑	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						近年、就労系支援施設の利用者は横ばい傾向にあり、市内で開設しようとする事業所については無い状況である。今後、グループホーム整備について検討する。
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	349,350	345,500	376,500				
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)	349,350	345,500	376,500				
人役・職員(人)	0.05	0.05	0.05				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	将来的に親亡き後の障害者の生活の場としてのグループホームの整備、短期入所施設、生活介護施設の整備に対する検討をする必要がある。	③取組の課題	県の補助金選考会において、漏れる結果となった。
②今年度(H27)に実施した取組	グループホーム建設に向け、国等の補助金を得るため、社会福祉法人「まほろばの里」と協力し、県へ補助の申請をした。	④今後の改善計画	平成28年度は、前年度の結果を踏まえ、再度、補助金申請を行い、県の協力を得ながら事業を進める。